

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2 年 3 月 23日

事業所名 Happy Smile

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8	4	0	個別スペースも設 けている。	移転を予定しており、限られたスペースでの 支援工夫を行う。
	2 職員の配置数は適切である	7	5	0		男性職員が少ない為負担はあるが、各自のスキ ルアップをすることで、負担軽減を図っていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	6	5		次年度、転居することにより、バリアは解消 される見込み。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	6	4	2		PDCAサイクルを意識した取り組みができる よう、業務に関する研修も検討する。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8	4	0	連絡帳に記載されて いることや、直接聞い た意向などは、職員 間で共有している。	日々のことだけではなく、評価表を素に、業 務改善につなげていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	3	0	ホームページで公 開している。	周知不足のため、職員一人一人にしっかり 伝達する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	7	5	0		第三者委員は設けているが、第三者評価は 実施していない。今後検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	12	0	0	内部研修の実施だけ でなく、外部の研修にも積 極的に参加している。	参加する職員に偏りがあるため、今後を 様々な職種の職員にも機会を与えていく。
適切な支 援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0		継続的なアセスメントを実施し、計画に反映 させたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	6	6	0		新えいぶるの使用を検討している。
	11 活動プログラムの立案をチームで行って いる	11	1	0	担当月を決め、月末 に翌月の活動予定を 話し合っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫 している	10	2	0	全体活動、個別活動 を分けて活動の場を 設けている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をき めやかに設定して支援している	5	7	0	「子ども会議」を行い、 子どもたちの意見も聞き ながら行っている	きめ細やかな設定を心がける。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサー ビス計画を作成している	10	2	0		個別と集団支援の効果的な組み合わせを 検討する。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	9	3	0	支援前にはその日 の流れなどを、確 実に確認している	時差出勤の職員もいるため、確認共有する ために、その都度申し送りするなどする必要 がある。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	8	4	0	支援終了後(送迎 終了後)にも確認 共有している。	業務終了時に全員職員がいないので、日誌 等を確実に確認する必要がある。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	3	0		記録から、分析行動をしっかりすることで、 今後の支援につなげていく
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断し ている	9	3	0	児発管、管理者 が中心となって 行っている。	モニタリングから計画の修正スキルを上げ る。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	7	5	0		ガイドラインの勉強会を実施する。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	3	0	児発管、管理者が中心となって行っている。	必要とする場合は、支援員や、看護師、機能訓練士等の参加も促していく
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	11	1	0	回覧簿等で周知している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	10	2	0		対象児童が高校生なので、児童発達支援事業所との連携はない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2	0	児発管が中心となり連携を図っている	スムーズに移行ができるように丁寧に情報提供していくよう心がける。放課後等デイサービスを卒業後も、福祉サービス事業所からの相談に乗れるようにしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	5	0		センター主催の研修会に参加できるよう、情報収集する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	6		同世代の子どもと接する機会がないため、地域交流の機会を増やしていく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	6	6	0		児発管を中心に協議会や専門部会に参加できる環境をつくる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	1	0	連絡帳でのやり取りや送迎時に、しっかり申し送りしている。	ゆっくり話す機会をもっと持つことで、お互いの不安をなくしていける。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	7	1		ペアトレやTTレの勉強会を支援者で行い、保護者へ情報提供できるようにする。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	3	0	契約時に説明。疑問がある際はその都度説明している。	契約時以外でも運営規定を確認する機会を設ける（職員）
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	2	0	電話や、メール、LINEを活用し、いつでも対応している。	面談を増やしたり、家庭訪問したり、各家庭に合わせた対応が必要。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	3		保護者会を積極的に開催していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	0	管理者へ迅速に報告している	職員間でも、周知徹底していく必要がある。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	0	ハッピー便りを発行している	便りを利用者、家族とも楽しみにしてるため、今後も継続して発行していく。
	35	個人情報に十分注意している	11	1	0		最新の法律や情報を取り入れ、個人情報保護に努める。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	1	0		障害特性の勉強をして、支援者のスキルアップを図る。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	8	4	0		地域との連携を全職員で取り組めるよう、意識向上を図る。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	4	0		保護者への周知はされていないため、周知徹底していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	0		保護者への周知はされていないため、周知徹底していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	0	市や県の資料を基に研修を行っている	一年を通して何回も学ぶ機会を設けます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	3	0		身体拘束の概念等、利用者と支援者が共通理解のもとに支援ができるようにします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	1	0	看護師を中心として対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	2	0	日々のホーム日誌に貼り付けて、目を通すようにしている	同じような事案が発生しないように分析をしていき、今後につなげていく。